

(件名) バンコク日本博 2023 で石狩振興局が北海道 PR を実施

バンコク日本博 2023 で、石狩振興局が北海道 PR を実施しましたので、その様子をご報告します。

1 概要

9月1日(金)から3日(日)にかけて、バンコク中心部にある大型商業施設サイアムパラゴンにて「バンコク日本博 2023」が開催されました。タイ最大級の日本製品の総合展示会であり、日本の文化や旅行、食、伝統工芸、サブカルチャー、留学、就職など日本発のあらゆる商品や情報をタイの人々に向けて発信するイベントです。

右の写真は、1日(金)の10時頃に撮影したものです。平日の午前中にも関わらず、多くのタイ人が並んでおり、過半を占めていたのは制服を着た学生でした。本イベントは、2002年スタートの「日本留学フェア」から発展したという経緯があります。学生の来場者の方にお聞きしたところ「学校側から、日本への留学や日系企業への就職を考えている在学生向けに、参加の声掛けがあった。」とお話いただきました。

ところで、タイローカルの番組で「dd Life's so good」という人気番組があります。d(ディー)はタイ語で良いという意味で、本番組は「とても良い人生」という名のトーク番組です。その番組は、5週間にわたり「Japan Special week」として、北海道をはじめ、岩手・長野・静岡・山形の各放送局と連携して日本の文化をタイに伝える特集を組んでいます。なんと、その人気番組がバンコク日本博に出展しており、番組制作に協力したUHB(北海道文化放送)と取材地である石狩振興局が日本博の出展ブースに加わって、一緒に石狩の観光PRを行いました。

北海道米の魅力を伝えるライスボールプレイヤーとして有名な川原氏も駆けつけて、ご当地おむすびの試食は、1時間も経たない内に品切れとなる大盛況でした。試食されたタイ人の方からは「数年前に北海道に行ったけど、海鮮が美味しかったよ!」「旭岳ロープウェイは景色が良くておすすめだけど知ってる?」と話しかけていただくなど、かえってPRする側が北海道のPRを受けてしまいました。



開場1時間前の様子(筆者撮影)



会場内の様子(筆者撮影)

2 所感

バンコク日本博来場者の反応から、タイにおける北海道の知名度の高さを再認識しました。

それとともに、日本の旅行会社の方が「本イベント等でのPR実施以前から、訪日タイ人は多い。しかしその中には、訪日目的が紅葉であるにも関わらず、夏に訪日する旅行者が少なからず居る。認識のズレが修正出来れば、更なるインバウンド需要の掘り起こしが可能である。」と話されていたのが印象に残りました。

そこで今後のインバウンド向けプロモーション手段ですが、景観やイベントを売りにした観光地であれば、開花シーズンやイベント開催時期について、道内限定を売りにした特産品であれば、購入可能場所について、そうした情報を、タイ人にとっても身近な存在であるSNSにて、多言語で発信していくことが重要と考えます。



試食提供の様子(筆者撮影)